

中共の卑劣な策謀にとどめを

「中華思想」の中国こそアジア動乱の根源です



〈ネパール王国〉メモ

首都：カトマンズ
面積：14万797km²
人口：1,823.4万人

言語：公用語はネパール語
通貨：ネパール・ルピー
宗教：多数がヒンズー教

- ヒマラヤ山脈の南部に位置し、中国、インドの2大勢力の緩衝国。
- 1969年グルカの王がカトマンズ盆地を中心に、王国を統一したことに始まる。

台湾、チベットに独立を！
ネパール王室に連帯と支援を！
北朝鮮に断固たる姿勢を！
それはわが日本外交の使命です。

この毛沢東主義者らが、実は共産中国の庇護のもとにネパール王政の転覆を企んでいることは明白ですが、背後で操る共産中国の意図もまた明白といえましよう。政治思想の仮面をかぶった非道な支那人らの行動を支配する原理は、過去数千年つづいてきた古色蒼然たる「中華」思想であり、弱肉強食の覇権主義です。皆様ご存じのように、共産中国はかつてチベットを同じような形で支配しました。チベットでは現在も弾圧や虐殺、拷問が続いています。そして今またネパール王国を惨禍に巻き込み、台湾を侵略せんとし、北朝鮮を傀儡(かいらい)として共産中国こそ、極東で現在起きている緊張状態の主たる要因となっています。わが国における北朝鮮問題は決してそれ単独の問題では既になく、チベット・ネパール・台湾情勢と軌を一にした共産中国の策謀であることを認識しなければなりません。

ネパール王国では八月二十八日、反体制共産主義者による国軍大佐の殺害により、七ヶ月にわたる休戦状態に終止符が打たれた。以来、毛沢東主義者らは首都カトマンズ内外で爆弾テロを頻発させ、市民を無差別に殺傷し、九月十六日現在死者は二六〇名を超えた。さらに左翼勢力の常套手段であるデマゴグとアジテーションを用い、いわゆる市民デモなるものを行って国軍に敵対させ、国内に不穏情勢を醸成している。

外電(BBC)

新風は、かつて世界の模範であった道義外交の復活をめざす政党です



維新政党・新風本部

〒604-0912 京都市中京区二条通河原町東入 京都書店会館2F TEL.075-256-1545 FAX.075-241-2193
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5 麹町ロイヤルビル401号 TEL.03-3263-7591 FAX.03-3263-8790

ホームページ
<http://www.shimpu.jpn.org/>

